

---

## 岐阜県立飛騨高山高等学校

学校長 滝村 一彦

学校住所 (岡本キャンパス) 高山市下岡本町2000-30 電話 0577-32-5320

(山田キャンパス) 高山市山田町711 電話 0577-33-1060

---

- 1 会議の名称** 平成27年度岐阜県立飛騨高山高等学校 学校評議員の会議(第2回)  
兼 学校関係者評価委員会
- 2 会議の構成**
- |    |       |                 |
|----|-------|-----------------|
| 委員 | 石井 充子 | 児童養護施設 夕陽ヶ丘施設長  |
|    | 清水 洋子 | 地元企業役員          |
|    | 谷口 寿夫 | 飛騨農業協同組合 代表専務理事 |
|    | 松川 英明 | 高山グリーンホテル 常務取締役 |
|    | 美素ひとみ | 岐阜県指導農業士        |
- (委員名は五十音順)
- |     |       |                       |
|-----|-------|-----------------------|
| 育友会 | 升 淳一  | 全日制育友会長               |
|     | 山田 猛  | 定時制育友会長(欠席)           |
| 学校側 | 滝村 一彦 | 校長                    |
|     | 田中 治  | 副校長(全日制山田キャンパス)       |
|     | 和田 英宏 | 副校長(定時制・通信制)          |
|     | 岩佐 智子 | 学校事務主幹兼事務長            |
|     | 細江 雅紀 | 教頭(全日制岡本キャンパス)        |
|     | 清水 明彦 | 教頭(全日制岡本キャンパス)        |
|     | 村井 真  | 教頭(全日制山田キャンパス)        |
|     | 日江井孝浩 | 教頭(定時制)               |
|     | 金子 佳弘 | 教頭(通信制)               |
|     | 村田 和宏 | 教諭(全日制岡本キャンパス教務主任、記録) |
- 3 会議の目的** 学校運営等について、地域住民や有識者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催** 平成28年1月29日(金) 14:50~15:50 高山市民文化会館 2-2室  
学校評議員5名、育友会長1名、学校側10名が出席
- 5 会議の概要** (進行 清水教頭)  
開会のことば(田中副校長)  
学校長あいさつ(滝村校長)  
今年度の学校状況の説明  
全日制 岡本キャンパス(細江教頭)、山田キャンパス(村井教頭)  
定時制(日江井教頭) 通信制(金子教頭)  
学校関係者評価、学校へのご意見、ご要望等  
閉会のことば(和田副校長)

## (1) 学校長あいさつ

本日開催しました学習成果発表会は、一つの学校をスローガンに統合11年目を迎えた本校の姿がよくあらわれていたのではないかと感じています。

第1回会議以降も、生徒はよく活躍してくれており、新聞にも数多く取り上げられています。いくつか紹介しますと、小学生や中学生の段階から農業に興味を持ってほしいとの思いから、山田キャンパスでは本年度から「ひのう講座」をはじめ、多くの児童生徒に参加してもらいました。部活動では陸上競技部が頑張りました。特に男子がよく頑張っており、男女そろっての東海駅伝出場を見事に果たしました。また、通信制では中部地区高校通信制生徒の生活体験発表会で、本校生徒が県代表として発表してくれました。

さて、本日は学習成果発表会をはじめ、日頃本校に対して感じている忌憚のないご意見をお聞かせください。よろしくお願いいたします。

## (2) 今年度の学校状況の説明

### <全日制 岡本キャンパス>

- ・学習面では、特にアクティブ・ラーニングを意識した授業改善に取り組んでいる。講師を招いての研修会を実施したり、中学校への授業参観など積極的に研修に努め、生徒の肯定的評価も9割を越えている。本日の発表自体がまさに本校のアクティブ・ラーニングの姿ともいえる。普通科では、今年度から夏に乗鞍青少年交流の家で3泊4日の学習合宿を実施した。3年生だけでなく2年生の希望者も参加し、成果もあらわれつつある。商業科は国家資格の取得に向け頑張っている。また「飛騨を元気に」を合言葉に「えごま茶」など商品開発にも積極的に取り組んでおり、2月には市議会議員との懇談も計画されている。生活文化科では、フードデザインコースの生徒がスイーツコンテストで見事グランプリを獲得した。
- ・特別活動面では、部活動でハンドボール部が県高校新人大会で16年連続優勝を果たすなど、正に常勝軍団、無敵の活躍である。その他の部活動も勉強と部活動の両立に努めながら頑張っている。また、MSリーダーズは地区全体で500～600名の生徒が参加しているが、本校だけで336名もの生徒が本年度も活動してくれている。

### <全日制 山田キャンパス>

- ・全体的に生徒の学校評価はよいが、生徒に対する先生の対応、多面的な評価、学校行事などで前回より評価が下がっており、授業改善への取組がまだ生徒に十分浸透していないようである。見直しを図りたい。
- ・日常の学習の成果として、本日の発表にもあったが、農業クラブの東海大会で第2位を獲得したのをはじめ、園芸科学科の生徒はフラワーアレンジメントで全国大会に出場、環境科学科も測量部門で6年連続県大会優勝を果たしている。指導する側も大きな励みとなっている。
- ・若い世代から農業への理解を進めたいとの思いから、「ひのう講座」をはじめた。小学5年生から中学3年生までを対象に、年6回12講座を開講し延べ96名が参加した。今後も継続する。また、産学共同で、飛騨牛の肥育研究を進めている。

### <定時制>

- ・基礎・基本を重視し、どの教科もプリントを作成して授業を行っている。生徒もしっかり授業に取り組んでおり、生徒自身の授業評価も肯定的評価が9割以上である。また、先生の説明はわかりやすいとの評価も9割を越え、ティームティーチングも高評価である。一方、

応用力をつけたい生徒に対する指導方法には工夫の必要があり、改善に努めたい。

- ・通信制との併修による三修制を利用して3年間で卒業する生徒は、毎年4名程度である。
- ・生徒の就業率は8割弱で、アルバイトをしながら頑張っている。また、人としてのモラルやマナー指導に力を入れており、外部講師による講演なども取り入れている。
- ・保護者との意思の疎通を図るため、懇談を年3回実施している。
- ・今年の卒業予定者は12名で、内4名は正社員としての採用である。未定が4名いるが、1人を除き就職希望であり、家庭との連絡を取り合いながら頑張らせている。
- ・部活動ではバドミントン部が校外での練習にも積極的に参加するなど頑張っている。

#### <通信制>

- ・通信制の生徒は、半数が他校を中退した生徒で、卒業することが第一の目標である。
- ・様々な理由で不登校を経験した生徒も6割を占めるが、「先生の授業の教え方や説明がわかりやすいか」との問いに対する生徒の肯定的評価は9割を越え、レポートには必ず先生方がコメントを書いて励ましている。こうした中での信頼関係が、日曜スクーリング出席率が約8割という他校に比べ非常に高い数字にあらわれており、生徒達はよく頑張っている。
- ・昨年度は17名いた退学者が、本年度は7～8名の見込みである。退学の理由は、仕事のほか発達障がい等の病気によるものも多いため、今年度は発達障がいに関する職員研修会を実施した。

### (3) 学習成果発表会の感想および学校へのご要望・ご意見等

意見1 学習成果発表会は、毎年レベルが上がっており感心させられる。飛騨高山高校は地域に開かれた学校、飛騨を元気にすることを目指し、今ある農畜産物に付加価値をつけるなどの取組を実践してきたが、これからは海外戦略も考えた発表があるとよい。飛騨の農家の方々に話を聞くと、TPPによってどんな影響があるのか大変不安に感じているようである。そこで、これまでとは違った海外への輸出を視野に入れた研究に取り組んでみるのはどうか。若い感性で、夢のあることに挑戦してみしてほしい。

意見2 本日の発表や進学状況などから、勉強にも頑張っている様子が見えるが、いずれ皆社会に出るわけなので、即戦力になる準備もしてほしい。特に英語力を高めることが不可欠であり、是非、来年度のマニフェストに組み込んでほしい。

意見3 進路状況を見ると進学者が多いようだが、是非高山に帰ってきて活躍してほしいと願っている。先生方からも助言していただきたい。

学生時代に何かに打ち込んでいた人は、社会でも頑張っている。是非、部活動や検定などに積極的に挑戦させてほしい。そうした過程で協調性が得られ、社会で大いに役立つ。

本日の発表会は大変感動した。全校が協力しあっている姿がよくわかった。学校評議員を引き受けることで学校の様子もよくわかり、いい時間を過ごすことができた。

意見4 毎年、子ども達がひとつになって取り組む姿に感銘を受けている。

自分は農業に携わっているが、高山での新規参入者は地区外ばかりで、地元が少ない。もっと農業の魅力を発信していきたい。本日の発表で岡本キャンパスの生徒が味噌や荳胡麻茶をつくったという研究発表があったが、山田キャンパスで大豆や荳胡麻を栽培し、岡本キャンパスの生徒が製品化するなど工夫するとよい。

今後、我々も、あらためて農業科や生活文化科の生徒と一緒にテーマを考え、取り組める事業を推進していきたいとの思いを強くした。

意見5 飛騨高山高校は特色ある学校である。定時制には様々な理由で行き場のない生徒も元気に通学して頑張っている。社会の受け皿としても大変にありがたい存在である。こう

した生徒や先生方の地道な活動にもっと日が当たることを願っている。

知り合いで、飛騨高山高校を卒業し大学に進学していた子どもが今春教員になると聞き、大変喜んでいる。今年度の卒業生にも公務員に合格した生徒がいるようだが、具体的にはどのような進路先なのか。

学校側 環境科学科では毎年公務員に合格者を出しているが、職種は林業や農業土木系である。今年度は国家公務員に1人、岐阜県職員に2人である。

普通科、情報処理科の生徒は、ともに岐阜県警察官である。

意見6 本日の発表では、学校の指導と生徒の努力がうまく絡み合っており、よかった。一般に中高生は対一の会話はできるが、対多はうまくできないと言われている。今日の発表会はそうした意味でもいい機会であると思った。ただ残念なのは、全体的に早口であり、伝わりにくかったということである。これは事前の準備、指導の中で直せる部分であるので、自己表現力を高めるという観点からも学校で取組んでほしい。

これは提案だが、学校がSNSを開設してこのような会を広く発信できないか。既に多くの私学では発信している。校内のセキュリティの問題もあろうが、フェイスブックも情報発信のひとつの手段である。

#### (4) 会議のまとめおよび閉会のことば

本日は、お忙しいところ、学校評議員の会議に御出席いただきありがとうございました。皆さまからの貴重な御意見は、学校に持ち帰り十分検討してまいります。

今後とも本校のためにどうぞよろしく申し上げます。